

SYOHEI ニュース 令和7年9月号

国民健康保険衣川診療所の概況

所在地

〒029-4332 奥州市

衣川古戸 48-3

TEL

0197-52-3500

FAX

0197-52-3502

URL <http://www.city.oshu.iwate.jp/>

E-mail: shinryousho-kol@city.oshu.iwate.jp

診療開始年月日 平成元年 11 月 1 日

標榜科 内科・リハビリテーション科

許可病床数 一般 19 床



診療職員数 (R7. 4. 1 現在)

職 種	正 規	正規以外
医師	1	0.6188
薬剤師	1	
看護師	8	3
その他の技術職員	1	2(1)
事務職員	2(2)	2(2)
その他		2
総数	13(2)	9.6188(3)

主な設備の概要

X 線一般撮影装置・超音波診断装置・理学療法機器・電子カルテ・医用画像管理システム・自動血球計数装置・16 列マルチスライス CT・作業療法機器・血液ガス分析装置・生化学自動分析装置・自動分包機(錠剤・散剤)・骨密度測定装置

勤務医師

職 名	医 師 名
医務技監	高橋 久行

保健福祉活動

事業所健康診断、産業医・予防接種業務委託、各種健(検)診業務委託・特養ホーム(羽衣荘)嘱託医・学校医

・ ・ 卒業証書 ・ ・

衣川診療所医務技監 高橋 久行

昨今、メディアで卒業証書の偽装問題が大きく取り上げられていて、改めて卒業証書の持つ意味の大きさを感じます。

卒業証書に関して、私はそのサイズが大きいことに不満がありました。医学部の卒業証書ばかり、大学院の修了証書(学位記)ばかりです。

いつもは卒業証書を額縁に入れていますが、これほど大きいと持ち運びに苦労します。額縁を抱きかかえて運ぶか、証書を取り出し丸めて筒に入れて運

ばなければなりません。

我々の世代では、こうした賞状型の証書が普通でしたが、その後、折りたたむことのできる見開き型の証書が普及してきて、今では卒業証書のスタンダードとなっています。無い物ねだりになりますが、私はこの見開き型の卒業証書にずっと憧れていました。

父親の遺品の整理をしていた時のことですが、見開き型の古い卒業証書が出てきました。本籍地福島県となっていて、片方が日本語で、もう片方が英語で書かれています。誰のものかと思ったら、母親の卒業証書でした。



名字が違っていただけですぐには気づきませんでした。ミッション系の女子大だったので、このようなスタイルの証書になったのでしょう。

それにしても昭和30年代の初めに今に通じるような見開き型の証書があったとは驚きでした。それと中学校の教員免許状も二つ折りにしてはさんでありました。全体に小さく、裏面には教職科目を含めた学生時代の全取得単位数が記載されていて、私の持っている医師免許証とはずいぶん違うものでした。

母親が若い時に中学校の教師をしていたとは聞いていましたが、私が物心ついた時には、すでに教師をやめており、普通の主婦としての生活を送っていました。それでも、この教員免許状を見ると、教育者を目指し、教員資格を取るため頑張った時期があったことが伝わってきます。

こんな教師の端くれだった母親ですが、私の学業については一切口出しせず、自主性に任せてくれたことには感謝しています。

話が脱線してしまいましたが、どの教育段階であれ、卒業証書は、その人にとって思い出のつまった大切なものであるはずです。私にとって卒業証書とは、苦労して勉学に励んだ証しであり、卒業して数十年を経た今でも、折に触れて見ることで、自分のこれまでの歩みを振り返り、明日への活力につながっていくものなのです。

大谷翔平選手の成績ボード (R7.8.27 現在)

打者: 130 試合 打率 278 本塁打 45 打点 85 盗塁 17
投手: 10 試合 勝利 0 敗戦 1 防御率 4.61 奪三振 35

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です。
令和 7 年 8 月 28 日発行 奥州市医療局医師確保推進室
〒023-0053 奥州市水沢大手町 3-1 TEL0197-25-3833
市医療局HPにバックナンバーを掲載しています。 第 65 号

黒滝溪谷 = 二股岳国有林（衣川） = 平成 26 年 7 月 奥州遺産 No.46

黒滝温泉“のぞみの湯”から市道を 2 キロほど進み、分かれた道から南股川に沿って、さらに林道を 4 キロほど進むと黒滝がある。

南股川は、山里に清らかな山水を送る衣川の支流。岩山特有の溪谷を形成する上流は、ブナを主体とした原生林に覆われ、いくつかの滝が存在する。中でも黒滝は、両岸 15 ㍍ほどの岩盤に挟まれ、切り立った岩の間から流れ落ちる滝の勢いは壮観。深い滝壺に、大粒の水しぶきが舞い立つ。

平成 20 年 6 月 14 日に発生した岩手宮城内陸地震の影響で、滝壺直下の岩が崩れ、その形状に変化を及ぼした。しかし、滝の勢いは以前と変わらない。

初夏を迎え、青々と生い茂る木々の緑と黒い岩肌に舞い上がる白い水しぶき。

そのコントラストは、見る者を魅了する。豊かな山水を送ってきた黒滝は、今後も絶えず地域を潤し続ける。

※ 黒滝温泉 のぞみの湯は、令和 6 年 3 月末で温泉営業を終了しました。

